



渡辺幸一 議員

今後の道路整備計画について

次の3路線について今後の整備計画の内容と見通しは。

- (1) 県道池田～神戸線（通称）東幹線のJA東スタンドから三町大橋間の歩道整備
- (2) （通称）町道願成寺～白鳥線のゲンキーからJA東スタンド間の歩道整備
- (3) 西美濃夢幻回廊として位置づけられている（通称）ふれあい街道の整備



県道池田～神戸線



ふれあい街道

町長
 県道池田～神戸線については、今年度JAから北へ850mの事業として、測量整備計画に着手した。
 町道願成寺～白鳥線については、まず上田、萩原地区の交差点改良を早急に進めその後、ゲンキーに向かって歩道の整備に取りかかりたい。
 ふれあい街道については、22～24年で木の伐採が完了し、今後は願成寺地内の測量計画などを行い、できるところから整備していきたい。



町道願成寺～白鳥線

ら整備していきたい。
 また、今年度事業で小寺地内で200mの歩道整備も完了している。
 今後も県の支援を受ける状況があれば、計画しながら進めていきたい。

企業誘致と雇用の創出について

町長
 東地区工業団地計画の今後の見通しは。

今から30年ほど前に農振除

外をした1ヘクタール。2ヘクタールの区域を有効活用し計画している。10年後には東海環状西廻り全線開通も考え進めたい。

公共施設の耐震について

町長
 地区公民館は避難場所のため、耐震診断済の表示をされ安心して避難できる体制を考へるべきではないか。又、池田小学校の高学年棟及び給食棟の耐震計画は。

地区公民館については、避難場所になるため今年度中に早く整備をし体制を固めていきたい。又、池田小学校の耐震整備については当初27～28年度に計画されているが、来



耐震計画予定の池田小学校

年度前倒ししてできればと思うが今後の財政状況を考慮して実施したい。